



連載コラム 院長室だより 病院長 桑村 智

城西医療財団の基本理念に「いつも優しく」とあります。これは医療人として、患者さんやその家族、病院・施設を利用される皆様に対して、心を込めて親切に、丁寧に、親しみを持って接するという、当財団における接遇の基本と言えます。

医療の現場とは常に科学の先端をもって、重大な責任を負いながら取り組んでいくという・・・、ともすると硬く、冷たい現場となりがちです。このような環境で患者さんは病気への不安を打ち消して穏やかな気持ちで治療を受けることができるでしょうか？ 私たちミサトピア小倉病院は、精神疾患を患っている患者さんに安全で安心できる療養環境を提供することが求められているため、接遇においては特に注意を払うべきところだと考えています。

同じく職場においても「いつも優しく」はとても重要な意味を持ちます。病院や施設を利用される皆様に誠心誠意「やさしく」接するということは、我々が働く環境が、穏やかで互いの意見が正しく尊重されていることが不可欠だと思うのです。

職種や経験年数、生まれ育った環境やその人の持つ個性は十人十色であるけれども、それぞれがプロフェッショナルとしてこのミサトピア小倉病院に集っているのだから、お互いを尊敬して、足りないものは補い合い、溢れる力は更に上のレベルへ高めていけるように力を合わせて取り組んでいく。このことが何よりも大切だと思います。これからも、さらに皆で同じ目標を持って共に前進していきましょう。

表紙写真

写真タイトル：「 夏を背に咲く 」 撮影者： 小出 祥子 （臨床心理部）

この写真は、患者さんと育てた向日葵の写真です。4ページに、活動の紹介をしています。ご覧ください。

精神科病棟だより

1-3病棟 レクリエーション

平成26年7月23日（水）に、七夕レクを開催しました。

午前中に5名の患者さんが3名のスタッフと一緒に、午後のおやつタイムに食べるいちごのババロアを作りました。準備から片付けまで、それぞれ担当して行い、50名分のババロアは1時間程で完成しました。

午後は、七夕飾りを作るレクに40名程の患者さんが参加されました。まず、短冊に願い事を書き、笹竹に飾りました。『毎日が元気に』『早く退院したい』『病気が治りますように』など、健康や身体に関する願い事が多くみられました。



次に、折り紙や七夕紙を使ってちょうちん・かいかざり・あみかざり・輪つなぎなどの飾りを、はさみやのりを使って、作り方の紙を見たり、スタッフから教わったりしながら作りました。多くの患者さんが作って飾ったので、とても豪華な七夕飾りが完成しました。完成した七夕飾りの前で、数人ずつ記念撮影を行い、満足そうな笑顔をみせてくれました。



午後のおやつタイムは、午前中に作ったいちごのババロアにいちごのソースをかけたババロアと牛乳でした。作ってくれた患者さんに感謝していただいたババロアは、食感も食べやすくとても好評でした。



2-2病棟 映画鑑賞

平成26年4月から、作業療法（OT）のプログラムとして毎週火曜日の午後1時から、病棟のホールにて映画鑑賞を行っています。以前は、OT室で月に2回程行っていましたが、特に2-2病棟（閉鎖病棟）の患者さんは楽しみにされている方が多く、患者さんの希望もあり、病棟での映画鑑賞会を行うことになりました。



はじめて以来様々なジャンルの映画を上映してきました。集中して見ている患者さんも多く、楽しそうに笑ったりしながら鑑賞しています。毎週、上映を楽しみにすることで生活のリズムを整えたり、映画の話で患者さん同士の会話が生まれたりして、協調性を養うことにも繋がっています。今後も、バラエティ豊かな映画を選んで、患者さんに喜んでいただければと思っています。

介護療養病棟だより

病棟の1日

看護主任 甕 孝子

1-1病棟は、介護保険の認知症疾患療養病棟の50床の病棟です。

ある日の1日を紹介します。

朝、出勤すると朝食を終えたばかりの患者さん方がホールでくつろいでいます。おはようございますと声をかけると「おはよう！！」と、元気な返事が返ってくると、安心します。

今日は入浴日です。お茶の時間が終わる頃、お風呂どうぞと職員が呼びに来ます。「おお、そうかい」と喜ぶ方と「お風呂は結構です」と断る方と様々です。お風呂嫌いの患者さんを上手に誘導するのは、職員の腕の見せ所ですね。



そして、入院中の何よりの楽しみは食事です。今日の昼食は三色丼です。常食を食べるのが困難な患者さんにも、見た目でも満足して頂けるよう食事療養部が工夫して、3食の食事を提供しています。卵の黄色・鮭のピンク・烏そばろの茶色と、色鮮やかでとても美味しそうです。

午後のOT（作業療法）活動はカラオケです。患者さんは皆さん、カラオケがお好きで我先にとリクエストがあがります。若かりし頃を思い出しての熱唱は素晴らしく、懐メロのオンパレードです。

これからも患者さんが安全で安心した療養生活が送れるよう、看護・介護を提供したいと思います。

フラダンス鑑賞

平成26年8月6日（水）にフラダンス鑑賞会兼演奏会を病棟のホールにて開催しました。

まず、前半に病棟スタッフによる演奏会を行い、夏の曲を中心に演奏をしました。スタッフによる演奏会は恒例となっており、患者さんの反応も良く、歌ったり手拍子したりと盛り上がりしました。



後半のフラダンス鑑賞会では、患者さんのご家族の知人グループを迎え、フラダンスを披露していただきました。フラダンスが珍しいのか、じーっと見ている患者さんが多く、気分が乗ってくると前に出てグループの方々と一緒に踊る患者さんもありました。



途中で衣装替えがあり、ブルーとホワイトの衣装からグリーン衣装に着替えてホールに出てくると「わー！。」と大歓声が上がり、「キレイだね。」「すてきだね。」という声が多数聞かれました。そして、簡単な振り付けを教えてもらい、皆で一緒に踊ってフラダンスの雰囲気存分に味わい、楽しむことができました。

表紙写真の活動紹介

臨床心理部 小出 祥子

1-1病棟（介護療養病棟）では、情動記憶訓練として患者さんと色とりどりの花を育て、病院前の花壇を彩っています。種を蒔くところから始め、雑草取りをしたり、綺麗に咲いた花をめでたり、実った作物をみんなで収穫したりと、季節感を感じながら活動が続けています。

この活動は達成感や楽しいという気持ちを感じてもらうことが目的です。楽しい・嬉しいといった感情は記憶に残りやすいといわれており、写真を見ながら振り返りを行うことで思い出す力を鍛えることにもつながります。

また、患者さんに『仕事』として提供していくことで、責任感や充実感を持って、受け身ではなく自分から参加意欲を感じて参加してもらっています。実際、「畑仕事だよ」と伝えると途端に笑顔になる方や、活動のできごとを話し始める方もいらっしゃいます。また、やっていたこと思い出せない患者さんでも、実際に活動してみると、誰よりもうまくこなすことができる場合もあります。



こうした活動を通して、患者さんの機能の維持や笑顔が増えるお手伝いをしています。

長野県知事選挙・塩尻市長選挙 不在者投票

当院では、選挙の投票日に、病状が思わしくない・単独での外出ができないなどの理由のため、地域の投票所へ行くことができない患者さんに対して、不在者投票施設の指定を受け対応しています。

今回の長野県知事選挙と塩尻市長選挙では、合わせて65名の患者さんが、院内の大会議室と各病棟において、不在者投票を行いました。

病院の理念

慢性期の患者さま一人一人の病状・置かれている状況を個別的に考え人格を尊重し、全職員が職種を超えてチームを組んで一体的に治療目標が達成できるように最良のサービスを提供する。

病院の基本方針

1. 地域への貢献
2. 医療安全・サービスの質の向上
3. 職場の環境づくり
4. 地域連携
5. 経営の健全化

精神科療養病棟150床・老人性認知症疾患療養病棟50床

患者さまの権利

患者さまは、人間として尊重され差別されることなく、公平で良質な医療を受ける権利があります。そのため私達は治療を始める際には、診療についての情報をご本人に説明しご理解いただいた上で患者さまのプライバシーを守り、意思を尊重し継続性のある医療を提供します。

〒399-8103
長野県安曇野市三郷小倉6086-2
TEL 0263-76-5500(代) FAX 0263-76-5501

社会医療法人 城西医療財団

ミサトピア小倉病院

編集後記

朝晩が涼しくなりましたが、今年は、真夏日があまりなく、比較的涼しく過ごせたためか、秋になったという実感が湧きません。

これからは、行事の季節です。当院でも、作品展示やカラオケ大会等、何かと忙しい季節になります。寒い冬に備えて運動するのもにも良い季節です。

広報委員長 樋口 孝